

World Children's Day

11月20日は 世界子どもの日

世界子どもの日とは？

世界子どもの日(せかいこどものひ)は、世界中の子どもたちの権利や幸せについて考えるための日です。この日は、子どもたちがどんな環境で育ち、どんなことが必要なのか世界全体で考え、サポートしようとする重要な機会です。

毎年11月20日に行われています。



世界子どもの日の背景

この日が設定されたのは、子どもの権利を守るための国際的な解決策です。1946年、第二次世界大戦で多くの子どもが被害を受けたことから、1954年に国連は11月20日を「世界子どもの日」として、すべての国で子どもの健やかな成長を願って行動することを述べました。

さらに、1989年の11月20日に国連総会で「子どもの権利条約」が採択されました。この条約には、すべての子どもが健康に成長するための権利、教育を受ける権利、そして保護される権利などが含まれており、現在では多くの国がこの条約に賛成しています。



世界子どもの日の活動

この日には、国や地域で子どもの権利について考えるためのイベントが行われたり、子どもたちの状況を改善するための支援が行われます。例えば、学校で子どもの権利について話し合ったり、SNSでメッセージを広めたりすることが多いです。ユニセフや様々な支援団体も、世界子どもの日に合わせてキャンペーンを行ったり、募金活動やサポートを行っています。



世界には、まだ十分に教育を受けられない子どもや、危険な環境で生活している子どもがたくさんいます。世界子どもの日は、子どもが幸せで安全に成長できるように支援し、守るための行動を考える大切な日です。ぜひ皆さんも、世界の子どもたちがどんな環境で過ごしているのかを調べたり、できることを考えてみてください。

Children are
treasure



子どもの権利を 考える シンポジウム

2024

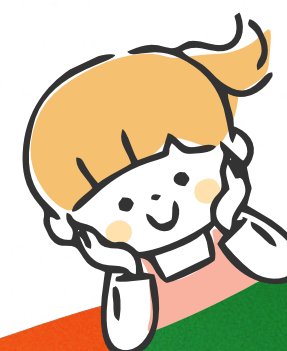
11月20日 水

世界
子どもの日

開演 18:00 (受付 17:30)

那覇文化芸術劇場なは一と(小劇場)

司会 下地 広樹(那覇市こどもみらい部副部長)



ごあいさつ

はいさい ぐすーよー ちゅうがなびら。皆様こんばんは。

「子どもの権利を考えるシンポジウム」の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。

本日、11月20日は世界中の子どもたちの権利や幸せについて考える「世界こどもの日」です。このような日に「子どもの権利を考えるシンポジウム」を開催できることは、たいへん有意義なことだと考えております。開催にご協力いただきました関係者の皆さまにお礼を申し上げます。

本シンポジウムは、多くの皆様に「子どもの権利」とはどのようなものなのかを考えるきっかけの一つとなってほしい、またどうしても、全ての子どもが幸せに過ごせるのか、そのために社会として何ができるのかを一緒に考えていただきたいとの想いから、開催に至っております。

第1部の基調講演では、まず「子どもの権利」の内容について正しく理解するために、憲法学の視点から西山千絵氏に講演を行っていただきます。次に、県内の子どもの貧困の状況について、子どもの権利の視点から考えるための講演を山野良一氏に行っていただきます。

また、第2部のパネルディスカッションでは、「子どもの権利が理解されるような社会をどうやったらつくっていけるか」をテーマに、コーディネーターのもと、私を含めた6人のパネリストが、それぞれの目線で意見を述べ合います。私も各パネリストの皆さんからいただくご意見を受けとめ、考えを深めていきたいと思います。

結びに、ご来場の皆様にとって、本シンポジウムが「子どもの権利」について考えるきっかけとなり、すべての子どもが健やかで素晴らしい生活を送ることのできる社会づくりに繋がっていく一助となりましたら、幸いに存じます。

いっぺー にふえーで一びる。ありがとうございました。

那覇市長 知念 覚

第1部 基調講演

憲法学の視点から考える『子どもの権利』

講師：西山 千絵 氏（琉球大学大学院 法務研究科 准教授）

権利の視点から考える『沖縄県の子どもの貧困』

講師：山野 良一 氏（沖縄大学人文学部福祉文化学科社会福祉専攻 教授）

第2部 パネルディスカッション

「子どもの権利が理解されるような社会を どうやったらつくっていけるか」

コーディネーター | 横江 崇 氏（弁護士 美ら島法律事務所）

今木 とも子 氏（NPO法人沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい 副代表）

西山 千絵 氏（琉球大学大学院 法務研究科 准教授）

パネリスト 山野 良一 氏（沖縄大学人文学部福祉文化学科社会福祉専攻 教授）

伊禮 愛梨 氏（トライ式高等学院 小禄キャンパス ボランティアチーム アノミー）

屋嘉部 安寿 氏（トライ式高等学院 小禄キャンパス ボランティアチーム アノミー）

知念 覚 氏（那覇市長）

講師・コーディネーター・パネリスト 紹介

講師・パネリスト



西山 千絵

琉球大学大学院
法務研究科
准教授

福岡県出身。琉球大学大学院法務研究科准教授で、専門は憲法学。東北大学法学部卒業後、東北大学大学院法学研究科博士課程前期終了、同後期単位取得退学。沖縄国際大学法学部講師を経て現職。主な論文に「憲法学にとっての子ども期の個人―『子どもの権利』の課題と現状を考える」法学セミナー66巻11号（2021）がある。那覇市公平委員会委員、那覇市情報公開・個人情報保護運営審議会委員。

講師・パネリスト



山野 良一

沖縄大学
人文学部
福祉文化学科社会福祉専攻
教授

1960年北九州市生まれ。北海道大学経済学部卒業後、神奈川県庁に入庁し児童相談所勤務（児童福祉司・一時保護所児童指導員）を経て、現在は沖縄大学人文学部福祉文化学科教授。ソーシャルワーク修士（米国ワシントン大学）。「なくそう！子どもの貧困」全国ネットワーク世話人。専門は、児童福祉、子どもの貧困。著書に『子どもに貧困を押しつける国・日本』（光文社新書）、編著書に『外国人の子ども白書』（明石書店）、『復帰50年沖縄子ども白書』（かもがわ出版）などがある。

コーディネーター



横江 崇

弁護士 美ら島法律事務所
NPO法人
子どもシェルターおきなわ
理事長

1976年東京生まれ。中央大学法学部卒業後、2000年に司法試験合格。2003年に沖縄弁護士会に弁護士登録し、2006年に美ら島法律事務所を開業。2016年にNPO法人子どもシェルターおきなわを設置し、理事長を務める。いじめや子どもの権利、人権問題に積極的に取り組み、沖縄弁護士会子どもの権利に関する特別委員会委員長や、県内外の様々な子ども関連委員会で活躍中。沖縄県児童相談所の嘱託法律専門家としての経歴も持つ。

パネリスト



今木 とも子

NPO 法人
沖縄青少年自立援助センター
ちゅらゆい
副代表／事務局長

宮城県仙台市出身。NPO法人沖縄青少年自立支援センターちゅらゆい副代表兼事務局長。社会福祉士・公認心理師・MBTI®認定ユーザー。琉球大学法文学部卒業後、飲食店経営や高齢者支援に携わり、2013年より青少年支援事業に従事。不登校の子どもたちの居場所「kukulu」でSVとして活動中。合同会社Colibri代表社員および一般社団法人setten理事も務めるなど、多方面で活躍中。

パネリスト



伊禮 愛梨(右) 屋嘉部 安寿(左)

トライ式高等学院
小禄キャンパス
ボランティアチーム アノミー

通信制高校トライ式高等学院2年生で、学生ボランティア団体アノミーに所属している。8月の高校生ボランティアアワード2024で、「ブックバンク」活動により猿田彦珈琲賞を受賞した。ブックバンクは本を循環させ、貧困世帯の子どもたちに学習機会を提供する取り組みで、今後地域に拡大していく予定である。

パネリスト



知念 覚

那覇市長

1985年、那覇市役所に入庁。秘書広報課長や総務部長、政策統括調整監など、長年にわたり市の要職を歴任。市政運営の中枢で活躍し、幅広い行政経験を持つ。2015年には副市長に就任。2022年11月からは第34代那覇市長に就任し、市の発展に尽力している。